



国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長 高橋 勇喜知
長井ロータリークラブ幹事 齋藤 圭 央
パストガバナー 渡部 保太郎
例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
事務局 長井商工会議所内 Tel0238-83-2047

第2800地区ガバナー 長谷川 憲治
第6ブロックガバナー補佐 今 良明
例会場 タスパークホテルTel0238-88-1833
会報委員 大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

平成28年10月4日(火曜日) 第2,680回

【月間テーマ】 経済と地域社会の発展

E-mail: info@nagai-rc.jp

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

<例会報告NO.12>

ゲスト卓話 長井市市史編纂専門委員 高井 耕次 氏

☆会長挨拶 (高橋勇喜知 会長)



昨日、岸宏一先生が議員退任されたことに対する感謝の集いが長井を中心に有志100数十人で開催されました。岸先生が現職当時、選挙の手伝いをしたことがありましたが、慰労会をやっていた時にわざわざ携帯に感謝の電話を頂いた思い出があります。今日も電話を頂きましたが、そういった先生の人柄に惚れての今回の開催になったものと思います。人間は褒められることはうれしいことであると思います。私も、大人げないかもしれませんが、生活する上でも、仕事をする上でも、いろんな役をする上でも、経営する上でも、どこかで褒めてもらいたいとの気持ちがあると思っています。社員や後輩にも一生懸命やっている人を褒めてあげなさいと言っております。人を褒められる人間は、いずれ褒められる人間になるのではないかと思います。ロータリーの話になりますが、大企業の社長はそう

いったことはお構いなしに利益至上主義でやっている人もおられますが、決して褒められる人だけではないと思います。奉仕の理想を掲げて集まっていますが、最終的には世間に褒められる経営者を目指すことが奉仕の理想の原点ではないかと思っています。そういうこともロータリアンとして活動していきたいと思っています。今日は、長井市の歴史を後世に伝える資料を編纂している高井先生の話だと思いましたが、大事なことであると思いますし、先人や先輩の苦勞を思い出すことも重要なことですので、じっくりとお聞きして、活動に生かしてほしいと思います。

☆幹事報告 (齋藤圭央幹事)

- ・25日の米沢中央ロータリークラブ創立30周年記念祝賀会出席の御礼が来ております。
- ・10月18日夜例会を中央会館で6時半から行います。同日6時から理事会を行います。
- ・11月10日4クラブ合同例会が白鷹で開催されます。出欠の記載をお願いします。
- ・早退届
井上 晴雄 会員

☆委員会報告

- ・ライラ委員会 前田昌信委員長
9月28日第3回委員会が開催され、山形ロータリークラブから実行委員長が選出された。10月18日次回委員会が開催されます。
- ・ロータリー情報・ICO広報委員会 前田昌信委員長
ロータリーの友10月号の見どころが紹介された。

<ニコニコ BOX>

- ・高橋勇喜知 会長
ゲストを歓迎して。すばらしい市史をお願いします。
- ・齋藤喜内 会員
高井耕次様を歓迎して
- ・塚田弘一 会員
高井先生が研究されている“知られざる長井”市民が目しています。

<ご本人誕生日>

- ・遠藤伴明 会員 2日

<奥様誕生日>

- ・大山友規憲 会員 20日
- ・横澤寿彦 会員 14日

<結婚誕生日>

- ・齋藤慎治 会員 15日
- ・大滝 徹 会員 31日

☆ゲスト卓話 (高井 耕次 氏)



- ・私は、老後は古文書に触れていたい、という夢があった。古文書は歴史に触れられることができると思っていたら、声を掛けられて市史編纂専門員になり、2年目になる。
- ・長井市史編纂事業は、30年前に発行されているが、今回全面改訂するものである。通史編4巻、A5版カラー500ページ、各論2巻、A4版で500ページ、カラーで親しみやすいものを目指している。平成30年全巻完成を予定している。
- ・現在、編集委員会を年4~5回開催し、「市史編纂室だより」の市報掲載、「長井市史資料集」の刊行、市史編纂「歴史講座」の開催、シンポジウムの開催、古文書資料の写真撮影を行っている。
- ・長井の由来はホームページでは水の集まる場所という意味と紹介され、市史第1巻では「長井郷」と紹介されている。一般には源頼朝が大江時広に長井の庄を与えてとされているが、地名はその前のあったと考えられる。しかし、本当にあった

のかは定かではなかったが、最近仏像の胎内から出てきた古文書に「出羽の国長井の庄」と紹介されているので、長井の庄があったことが明らかになりつつある。

- ・伊達時代の絵図には、宮という表示があって、その廻りは白川、野川、松川の三つの川に囲まれている。水が集まる場所であることがわかる。
- ・野川は、距離20Kmを高低差1000m下ることから、雪解け水がそのまま流れて、集落もないことから重宝されていた。茶道を楽しむ上杉鷹山公がお土産として持ち帰った水を大変喜んだといわれている。
- ・片倉小十郎は宮村生まれ、長井出身かどうかであるが、長井市史第1巻では、宮村館の館主は小十郎の伯父であるとされている。両親を早くなくしているため、伯父の世話になり、後を継いでいることが考えられる。しかし、江戸時代に片倉家が代々記をまとめるが、その中で宮村生まれと書かれている。また、宮村の工藤家との関わりもあることがわかっているので、今後編集委員で研究していくことになる。
- ・最近、故郷を見直しする機会が増えている。地域おこし協力隊の活躍や、おらんだラジオが市内の情報発信、宝物の良さなどの再発見の機会を作っていること、商工会議所が取り組んだ長井四季発見観光資源発掘コンテストなどで故郷を見直す機会が増えているので、長井市史編纂事業を通して、市民の一人一人が故郷を知り、故郷を愛する心につながるような手助けをしていきたい。

☆次回例会予定

10月11日 地区大会の振替休会

10月18日 ゲスト卓話

長沼酒造 副杜氏 長沼 真知子 氏

☆出席報告

10月4日 例会 報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席数	修正 出席率
本日	28(2)	18(2)	64. 29%			
前回 (9/27)	27(1)	22(1)	81. 48%	1	22(1)	85. 19%
前々回 (9/20)	27(1)	20(1)	74. 07%	1	21(1)	77. 78%